

2019年度環境への取り組み結果

(2017年から2019年の3ヵ年計画:最終版)

《ISO14001:2015認証取得工場:伊勢工場群の結果》



ISO14001事務局

2020年4月

第1版

※1 エネルギー使用量削減項目	3年間で3%削減⇒	6%削減
※2 P R T R物質削減項目	3年間で3%削減⇒	4%削減
※3 産業廃棄物の削減項目	3年間で3%削減⇒	21%削減

2019年度の取り組み

●2019年度 環境目的

1. 地球温暖化防止のため、生産時のエネルギー使用量（原油換算値）を3年間で6.0%削減（2016年比、生産高比）します。
2. 製品のライフサイクルで発生する炭酸ガスの発生抑制をします。
3. 水質汚濁を定められた値の60%にします。
4. P R T R物質の使用量を3年間で4.0%削減（生産高比）します。（2016年度値をベンチマークとします。）
5. 一般廃棄物、産業廃棄物を3年間で21.0%削減（生産高比）します。（2016年度値をベンチマークとします。）
6. 地球保全の重要性を高揚するため、地域活動を活発にすると同時に、省エネに努めます。

●2019年度 環境目標

1. 炭酸ガス発生量削減のため、次の事柄を実施し6.0%（2016年比、生産高比）削減します。
 - ①室温管理を徹底し省エネします。（冬季18℃夏季28℃）
 - ②不要機器の電源切断、エア漏れ防止など節電に努めます。
 - ③ 機器の省エネ化を推進します。
2. 新製品について、7%以上の長寿命化を行います。
 主要材料・資材の使用率を向上し、材料による炭酸ガス発生量を減らします。
 ムダの排除活動を推進します。
3. 水質汚濁を定められた値の60%にします。
4. P R T R物質については、4.0%（2016年比、生産高比）削減します。
5. 廃棄物については、次の事を行い、21.0%（2016年比、生産高比）削減します。
 - ①一般廃棄物 プラスチック、紙の分別を徹底し、一般廃棄物の削減を図ります。
 - ②産業廃棄物の発生抑制を推進します。
 - ③産業廃棄物の再利用化・再資源化を推進します。
6. 環境保全のための地域社会への貢献活動を4回／年、します。（5月、7月、9月、11月）
 地方自治体等からの環境保全活動の要請に対し積極的に参加します。
 全ての従業員はアイドリングストップなどの省エネルギーに努めます。

《炭酸ガスの発生量》 目標に対する結果 (I)

【年度目標】 エネルギー使用量の削減 <原油換算値で基準年度より6.0%削減（生産高比）>

※生産高比（係数）とは、使用量や排出量が生産変動による影響が大きく起因することから、それぞれの使用・排出量を工場生産量などの要素で比率を求めた数値です。

◆目標に対する結果

	玉城工場 使用量kl	伊勢工場 使用量kl	ドアクローザ 使用量kl	伊勢工場群 使用量kl	目 標		目標生産高比 (修正値)	結 果		
					計画時	修正目標値		生産高比	削減率	
2016年度（基準）	4,892	379	898	6,169	(基準)	-	0.599	*	*	*
2017年度	4,948	354	908	6,210	-1.0%	-	0.593	0.567	-5.4%	目標達成
2018年度	4,799	338	883	6,020	-2.0%	-5.7%	0.565	0.576	-3.9%	目標未達成
2019年度	4,771	323	702	5,796	-3.0%	-6.0%	0.563	0.560	-6.5%	目標達成

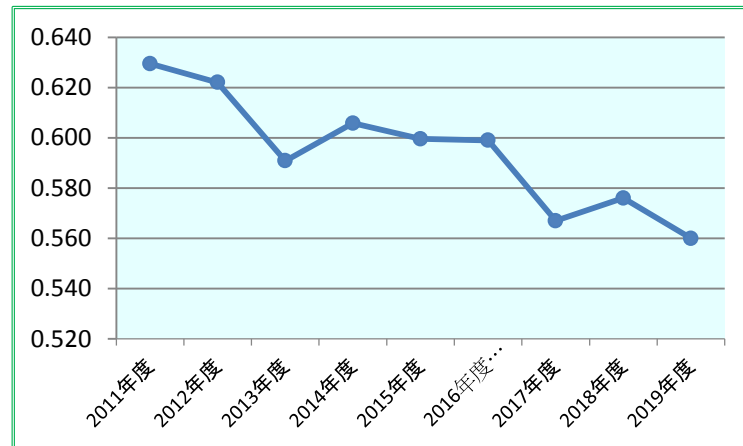
●結果：

- 工場照明のLED化、多量エネルギー使用設備の空気圧縮機などの運転方法改善による効果がありました。

◆過去からの状況

	玉城工場 kl	伊勢工場 kl	ドアクローザ kl	伊勢工場群 kl	生産高比
2011年度	4,100	1,267	930	6,296	0.629
2012年度	4,051	1,293	913	6,256	0.622
2013年度	4,239	1,171	959	6,369	0.591
2014年度	4,252	1,129	918	6,298	0.606
2015年度	4,323	992	844	6,159	0.600
2016年度（基準）	4,892	379	898	6,168	0.599
2017年度	4,948	354	908	6,210	0.567
2018年度	4,799	338	883	6,020	0.576
2019年度	4,771	323	702	5,796	0.560

◆過去からの状況変化（生産高比推移）



《工場排水/水質汚濁》 目標に対する結果（Ⅱ）

【年度環境目標】

水質汚濁を定められた値（協定値）の60%にします。

◆玉城工場

工場排水口で、毎月分析した結果の最大値と2019年の平均値を示します。

分析は外部の計量証明機関で実施し、単位はmg/ℓ

		健康項目			生活環境項目（金属類）				生活環境項目					
		6価クロム	全シアン	ジクロロメタン	全クロム	銅	亜鉛	溶解性鉄	BOD	COD	SS	ヘキサソ	全窒素	全リン
水質汚濁防止法		0.5	1	0.2	2	3	2	10	120	120	150	5	60	8
協定		0.05	0.05	*	0.1	0.05	1	0.5	10	10	5	1	10	1
2019年	最大	不検出	不検出	不検出	0.01	0.03	0.26	不検出	1.2	3.0	1	不検出	4.1	不検出
	平均	不検出	不検出	不検出	0.00	0.03	0.14	不検出	0.5	1.8	0	不検出	1.5	不検出

●結果と対応

- 排水処理装置の運転・管理と各項の物質使用部門での適切な運用により、全ての項目で協定値の60%以下の結果となりました。

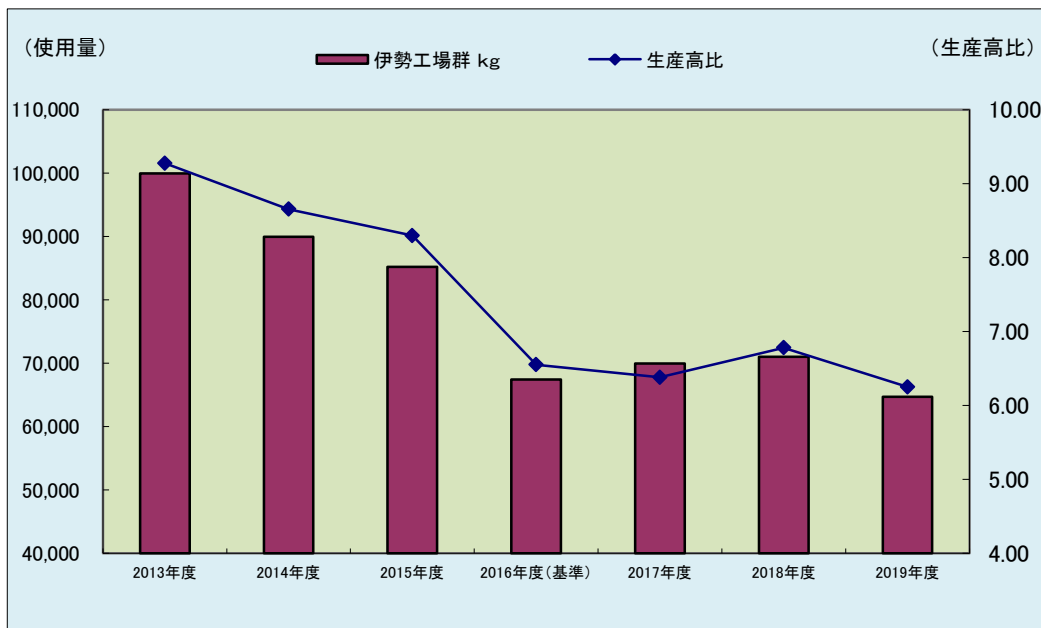
《PRTR物質の削減》 目標に対する結果（Ⅲ）

【年度目標】 PRTR物質使用量の削減 <<基準年度より4.0%削減（生産高比）>>

◆目標に対する結果（伊勢工場群全体）

	使用量 (kg)	目 標		目標生産高比	結 果		
		計画時	修正値		生産高比	削減率	
2016年度(基準)	67,408	(基準)	-	6.55	*	*	*
2017年度	69,931	-1.0%	-	6.48	6.38	-2.5%	目標未達成
2018年度	70,984	-2.0%	-3.0%	6.35	6.78	3.6%	目標未達成
2019年度	64,691	-3.0%	-4.0%	6.28	6.25	-4.5%	目標達成

◆PRTR物質使用量の変化



● 結果

- ・塗装装置の改善による効果がありました。

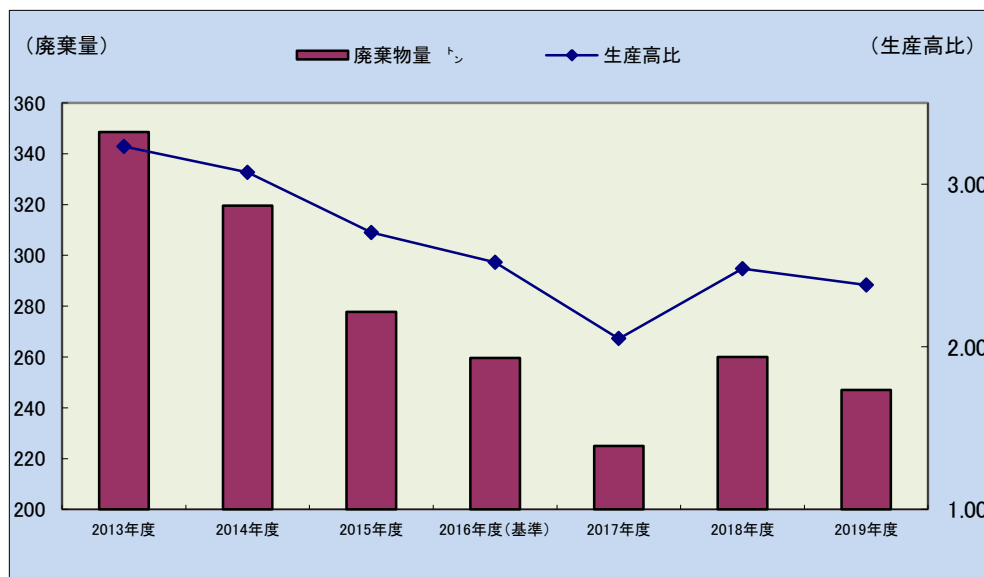
《廃棄物の削減》 目標に対する結果 (IV)

【年度目標】 廃棄物の排出量の削減 ≪基準年度より21.0%削減(生産高比)≫

◆目標に対する結果 (伊勢工場群全体)

	特別管理 産業廃棄物	産業廃棄物	一般廃棄物	合計	目 標 計画時	修正値	目標生産高比	結 果		
	トン	トン	トン	トン				生産高比	削減率	
2016年度(基準)	3	159	98	260	(基準)	-	2.52	*	*	*
2017年度	3	145	77	225	-1.0%	-	2.50	2.05	-18.7%	目標達成
2018年度	4	167	89	260	-2.0%	-20.0%	2.02	2.48	-0.4%	目標未達成
2019年度	5	158	84	247	-3.0%	-21.0%	1.99	2.38	-5.5%	目標未達成

◆廃棄物排出量の変化



●結果

- 2017年
前年より大きく削減でき、2018年目標を上方修正いたしました。
- 2018年
情勢の変化で、従来有価物として回収していた一般ゴミの廃プラスチックが有価物としての回収が不能になり、処分量が増加しました。
- 2019年
塗装工程より発生する廃棄物の一部を有効活用し削減しました。

3年計画の途中で目標を上方修正し、修正値に対し目標達成が出来ませんでしたが、当初目標よりは低減されております。

《地域社会への貢献活動》

2019年 活動

- 玉城工場近くの田丸城址の美化活動参加いたしました。
- 工場周辺の清掃活動を4回開催いたしました。



田丸城跡の活動風景

(写真は2018年10月風景)

